

…祝 詞…

米国副領事

レオポルド・ゴツツリンガー

本日は、この記念すべき式典に招かれかつまたここで御祝の詞を申上げる機会を得ましたことは私の最も光栄とするところでございます。

丁度80年前先見のある日本政府の役人は早くもサケ、マスの人工孵化の必要を認め、ヨーロッパおよび米国のすでに発達しておりました人工孵化の技術方法を導入し科学的研究に着手致しました。

本道では、10年の研究期間の後、千歳に始めて人工孵化場が作られました。こうして日米関係ことに本道と米国との関係が開拓使時代の往時からサケ、マス孵化事業を通じて深められましたことを私は心からうれしく思っております。

時のうつりかわりとともにこの事業の上にも数えきれぬ程の困難が襲つておりました。

しかし孵化事業に関係されておられませぬ皆様方の異常な熱意によりまして、一度も絶えることなく継続され、私どもが今日ここで手を取りあつて80周年のお祝をすることが出来たことは、一重に皆様方の先輩とそして皆様方が情熱をもつて獲得された成果に他なりません。

10月13日の道新夕刊によりますと、このたび米国のキングサモンの卵10万粒が皆様方の孵化事業のご成功を祝して皆様方に送られてまりました。聞くところによりますと、その卵は皆様方の手許で孵化され、来春には十勝川および千歳川に放流されるとのことです。このサケ

は大型のもので日本にはいないものさうです。

これが毎年放流されている約4億の他のサケ、マスの稚魚とともに本道の川で育ち年々その年数をふやし、やがて皆様方にしたしまれる「マスノスケ」となることでしょう。

「生の親より育ての親」という諺がありますが、このマスノスケは1年、2年後には、きつと皆様方のご親切なおもてなしに対してお礼をいい、かならずや日米両国の友好関係を一層緊密にすることを私は信じて疑いません。

現在本道には50を数える孵化場が仕事をしているそうですが、それらの設備や研究の成果は実に世界的であると伝えられております。

人工孵化に関する研究は、ただ一国だけの問題でなく国際的にも極めて重要な研究であり、万難を排しても継続させなければならない研究の一つでありましよう。

80周年記念式典にあたりまして、私はもう一度今日、世界に誇る皆様方の孵化事業は偶然に達せられたのではなく、諸先輩および皆様方のたゆまない研究の一步一步がもたらした結果であるということも申し上げ合せて、日米両国間の関係がますます深められ、拡げられますよう祈つてやみません。

これをもつて私の祝詞と致します。

北海道議会議長

徳 中 祐 満

本日ここに北海道鮭鱒孵化事業創始80年記念式典ならびに功労者表彰式および関係物故者慰霊祭を挙行されるに当

りご挨拶を申し上げたいと存じます。

顧みますと本道における人工孵化事業は明治10年開拓使が札幌市 偕楽園において創業し先人の並々ならぬご労苦により本道が誇るべき本事業の基盤が築かれたのでありますが 爾来80年余にわたり鮭鱒を始めその他水産資源の維持培養に顕著な実績を示しわが国漁業史に輝かしい成果をあげましたことはこれ偏えに先人が営々辛苦の末この偉業をなしとげさらにこれを受け継いだ関係各位の御斥瘃の賜でありこの御労苦に対しては深く敬意を表するとともに心から感謝する次第であります。

しかるに民間事業として年々隆盛におもむいた孵化事業も本道の内陸開発が進み鉱工業の発展にともない河川を利用する面が増加し水質の汚濁魚道産卵床の破壊など繁殖保護上極めて有害な事態を惹起せしめ親魚の溯上を妨害し経営を危殆におとしいれたのでこれが保護を図るため昭和27年水産資源保護法が公布施行され以来本事業は官営として国および道が一体となり資源の保護培養、施設の整備など画期的な対策が講ぜられ今日の如き事業の発展をみるに至りましたが多年にわたり事業発展のため斥瘃されここに表彰の榮譽を得られた方々に対し衷心からご祝い申し上げます。

水産王国を誇つた本道の漁業も近時不振の一途を辿り鮭鱒の漁獲も必ずしも順調でなく一般に資源が衰退しているのではないかと考えられている。折柄本日の式典は極めて意義深く関係各位は漁民と協力一致し本事業の進展を期しもつて本道産業経済の発展に寄与されますよう切望してやみません。

…祝 詞…

終りに本事業発展のため献身的努力を傾注され不幸にして他界されました各位に対してはその労を多し謹んで御冥福をお祈りする次第であります。

ここに北海道議会を代表し一言申し述べて御挨拶といたします。

北海道大学長

杉野目 晴 貞

本日ここに北海道水産孵化場の創立80周年記念式典に参列し、心から敬意と祝意とを表する機会を得ましたことは私の光榮とするところであります。

この機会に私は所懐の一端を述べて祝辞に代えたいと思います。

この孵化場の初まりは欧米のそれらに比較して古い歴史を持たれている名ある孵化場であります。

80年の昔といえはその当時は正に北海道開拓の暁であります。

当時においては新鋭の気にあふれた先輩の皆さんが凡ゆる事業の面に基礎を築いた時代であります。

当時御存じのように北海道の至る所で沿岸や河川には群をなすサケ、マス資源豊かな姿が見られました。

したがつて漁業者の乱獲に委せる有様でありましたが、この時におきましてすでに達見ある先覚者は遠い将来を憂えて、このままにサケ、マス漁業を放置しておきますときはその資源は急速に壊滅するであろうと考え率先して原始林を涉つて自然の障害を克服し水を求めサケ、マス人工孵化事業に先鞭をつけたのであります。

歳月を経るにつれて果せるかな膨脹す

…祝詞…

る人口と近代技術を駆使して進められた開拓の発展とともに凡ゆる天然資源が著しく減少して来たのであります。

特にニシンもその沿岸漁業の不況の例にもれず、現在の漁業経営の成り立たないまで資源の枯渇してきたことは他にも原因がありそうですが、その主なるものは開拓初期の資源保護に対する無関心によるものであると思います。

漁業資源の減少の傾向はサケ、マスの場合にも著しく昔日のおもかげは留めないのがありますが、秋ともなれば主なる河川には多くのサケ、マスの群が背中を見せるばかりに溯つて来るのが見られ沿岸では細々ながら一応サケ、マス漁業経営が成立つている有様であります。

このような、まずしい漁業経営でありましてもサケ、マス資源を維持してきたのは今更ながらサケ、マス人工孵化事業の果たした大きな功績であることを痛感致す次第であります。

そこでこの事業の80年の歩みを顧みますときそれは決して坦々容易なものではないのであります。

むしろ茨の道を踏み来たのでありまして、その苦心の足跡には頭の下るものがあります。

特に現場に働く皆様方は繁忙期にはご家族も共々文字通りの寝食を忘れて多数のサケ、マス稚魚の育成に心身をささげ努力されています。

職員の生活の一端を見ますとつい最近までランプの生活に甘んじ、あるいはわが身の病に侵されるのも省みず努力された方々も多かつたように伺っています。

このような仕事に黙々として従事され

る姿こそ尊く正に聖職と申すべきでありましょう。しかし世の中の全てが日進月歩でありますように、水産資源の培養にも科学の黎明が訪ずれますことを期待するのであります。

今や北洋サケ、マス漁業の資源の問題にしましても孵化場の仕事は国際漁業に大きな役割を果たすと思ひます。

そのようなわけで現在国の内外よりこの事業によせられる期待がますます大なるとともに、またその在方に関心を寄せています。

終りに臨んで本孵化場の大きな過去の業績を讃え将来の健全な発展を望んで止みません。

社団法人 北海道水産会
会長 川 端 元 治

北海道鮭鱒孵化事業創基80周年の祝典を迎えるに当つて所懐の一端を述べ御挨拶方々祝辞と致します。

北海道は開発以来80数年の経過を見たのでありますが、この間において本道はわが国の開発についての数多くのすぐれた方式をとつてまいつたのであります。デンマーク農法の移入はその代表的なものでありますがまた漁業についてみますと本道の孵化事業は明治の初期においてすでに起され、わが国の漁業史上特異性のある輝やかしい一頁をかざつていたのであつて、この偉業は独り本道のみならず世界に対しても誇り得るものであると思ひます。

近時に至つてはこの孵化場の使命は広く内外ともに理解され外国からも続々来日するものが増えて来ていることにわれわれの最も喜びとするところでありま

…祝詞…

す。

さらに鮭鱒については漸く世界の視聽を集め學術の焦点ともなつて来ているのであつてわれわれ関係団体においては特殊の新しい団体を結成して後援の態勢を固めるとともに政府においても放流7億粒の倍加計画を樹立しこれを推進する運びとなつたことは孵化場の将来の発展のために誠に同慶に堪えないところであります。

一方カレイ、ニシンあるいはシシヤモなどの鹹水養殖ニジマス、ヒメマスなどの内水面養殖についても漸くその進歩が認められてことに最近における沿岸漁業の慢性的不漁の結果資源の維持培養の必要性を痛感されるに至つたのであつて今やこの方面における孵化場の使命も次第に重きを加えつつあり、近き将来においてこの孵化事業の一層の発展を見ることをわれわれは間違いないと確信するものであります。

惟に明治初年からの永い間この歩みの中につくされた今日ある職員、過去に在職された職員の黙々たるご努力に対してわれわれは深甚の敬意を表するとともに名もなくこの世を去られた数多くの方々に対しては恭しく黙禱の意を捧げるものであります。

孵化場の今日までの輝やかしい歴史をふり返りさらに明日への飛躍を期待して止まないものであります。

ここに80周年記念式典に当つて孵化場のご発展を祈念するとともに今後皆様御活躍と御繁栄をお祈りし所懐の一端を申し述べここに祝辞と致す次第であります。

社団法人 日本鮭鱒資源保護協会
会長 小林小一郎代理
真田 健三

本日ここに北海道さけ、ます孵化事業創基80周年記念式典を挙行されるにあたり、祝辞を述べる機会を得ましたことは私の最も喜びとするところであります。

鮭鱒漁業はわが国の重要な地位を占める漁業でありまして、さらに近年国際的関連性が極めて強くなり資源の維持培養に万全の方策を講ずることの必要性がますます緊要になつてまいりました。

しかしながらわが国産業の急速な発展にもめない河川を中心とした諸産業の伸展もめざましく鮭鱒の繁殖環境は種々の悪影響を受け資源の推移はともすれば減少の兆を示し勝であることはわれわれ鮭鱒関係者として重大なる関心を払わねばならないところであります。

申すまでもなく、鮭鱒の増殖は天然繁殖の保護助長とわが国においては人工孵化放流事業の拡大と両々相俟つて達せられるものであります。

北海道においては明治10年開拓の初期よりすでにこのことを施策に取り入れられ爾来80年変遷の中にあつて、鮭鱒の増殖事業に従事されました先輩の献身的なる努力は、着実に資源保護の実を挙げて今日の盛大をみるに至りました。

創業期の労苦に想いをいたすときよくこの避地に止つて寒風にさらされ身の危険をかえりみず増殖に研究に精進されました数多くの先覚者ならびに心からなる協力をよせられた関係各位に対し深く感謝する次第であります。

本日栄ある式典に臨み80年の歴史と先覚者の遺功を偲ぶとともにわれわれも

…祝 詞…

今後尚一層の協力を誓い、孵化場の発展を祈りつつ祝辞と致します。

北海道漁業協同組合連合会
会長理事 安藤孝俊

菊花薫る佳き日北海道鮭鱒孵化事業創基80周年記念式典に参列し、御祝詞申し上げる機会を得ましたことは私の最も喜びとするところであります。

そしてこのような盛大な洵に意義の深い式典を催され、これを契機として孵化事業の画期的発展を期しておられる国立鮭鱒孵化場および道立水産孵化場の荒井場長殿や職員各位ならびにご関係の来賓諸賢に満腔の敬意を表するものであります。

元来さけ、ます孵化の事業場は人里離れた生活不便の地に設置せざるを得ないものであります。

特に北海道の場合多くは、冬期は交通も杜絶すを僻陋の地で文字通り孜々營々たる努力を一つ一つ積み重ねて成り立っているものであります。

このような生活的、肉体的労苦を克服されしかも幾多の難関があつたにもかかわらず約3百名の職員各位が一致して孵化事業の発展一途に、尽瘁されて来られた御熱意に対しまして、この機会に厚く感謝申し上げる次第であります。

今遠く80年前の草創期における先人の卓抜した見識や超人的労苦を偲びますとき、世界に誇り得るこの輝やかなしい歴史と伝統が、脈々と現孵化場職員各位に受け継がれていることを覚え、感銘入りのものがあるのであります。

先人の功績につきましては、各位御承知のところでもあり、かつ記念出版の中にも詳細記録されておりますので重複を避けませんが明治の見識とでも申しませうか百年の将来を見越した気宇の宏大な

ること精神力の旺盛なること、そして欧米の技術に学びながら忽ちこれを凌駕した意欲の強靱さはいかにも時と所に恵まれ人を得た感がしますし、事実本道開拓史の冒頭を飾っているのであります。

本日協賛会主催の下に物故者各霊位のご冥福を祈り、また功労諸賢や30年勤続職員各位に感謝状や記念品贈呈の意義ある行事が執り行われましたが該当諸賢のご労苦とご功績に対しましては唯々深甚なる敬意と感謝を捧げる次第であります。

今日ソ連や、アメリカ、カナダとの鮭鱒漁業条約の実施に当り、最大の問題点となつております資源論争も資源を産み出す孵化事業の重要性を国際的に高める結果となりました。

この際事業の発展のために関係者が一致して熱意を注ぎたゆまぬ努力を続けるならば少くも日本の主張に強い裏づけを持たせることができると私は信ずるのであります。幸い昨年度は資本漁業を含む全国の関係団体の総力を結集して社団法人日本鮭鱒資源保護協会が設立され道鮭鱒保護協会連合会や増殖組合など既存の各機関とともに協力体制が整い、かつ本道の孵化事業も本年から新しい構想を持つて5カ年計画を実施されました。さらにまた、資源保護法の運用や水質汚濁防止対策の問題も漸く総合的な漁業振興の諸施策の一環として真剣に考究される段階になりました。

遅きに失したりとは申せ御同慶に堪えない次第であります。

孵化場の各位におかれましては本道の鮭鱒孵化事業が日本の90%を占めていること、すなわち鮭鱒孵化事業に関する限り各位が日本を代表しておりますことを常に自覚され誇りと責任をお持ちになつてますます研鑽に努められますよう、お願い申し上げます。不肖私も先人や各

…祝詞…

位の労苦を空しくしないため、かつは将来の漁業振興の基盤を固めるため、ご関係の来賓各位の驥尾に付して努力いたしたいと存じております。

終りに国立鮭鱒孵化場、道立水産孵化場初め本式典協賛各団体のご発展をお祈り申し上げ粗辞ではありますが祝詞といたします。

北海道鮭鱒保護協会

連合会長代理 尾崎 勇

本日北海道鮭鱒孵化事業創基80周年記念式典に臨み祝辞を述べる機会を得ましたことは洵に光栄と存じます。

思うに80年の昔鮭鱒資源の豊富であった時代にこの資源培養のための人工孵化事業を創始された先覚者諸氏の英明とこの事業を今日の不動の体勢に導いた幾多の人々の努力に対しては衷心より敬意と感謝の意を表する次第であります。

北海道の鮭鱒漁業は古来水産の大宗として重要な位置を占め、また近年北洋鮭鱒漁業を加えてわが国水産業の根幹をなしていることは人工孵化事業の賜であることを確信するとともに、この人工孵化事業が今日の国際的立場に存在する北洋の鮭鱒資源の維持に大きな基盤を築いているものと信ずる次第であります。

由来この人工孵化事業は各種の障害が介在しこれを排除しなければ事業遂行が困難であります。過去の事業経営関係者の苦心と労苦の程が偲ばれる次第でありまして今後においてもさらに一層の障害が予想されます。関係者多数の理解と認識による協力によつて各種障害の除去に万全を期し、鮭鱒資源の保護に努めなければならぬものと存じます。

われわれ協会連合会は傘下の各河川協力団体を糾合して今後においても鮭鱒資源保持のためこの事業に協力を続ける所存であり、その一層の発展を祈念して

やみません。以上簡単ながら所懐の一端を述べ祝辞と致します。

札幌市長

原田 与作

本日ここに北海道鮭鱒孵化事業創基80周年記念式を挙行されるにあたり列席の榮を得るとともにお祝いの言葉を述べる機会を得ましたことは私の最も喜びに堪えぬところであります。

そもそも本道鮭鱒漁業の始まりは寛文年間と聞きおよんでおりますが、今日まで3百年間にわたる永い間道民の食膳を賑わすことは勿論移輸出品としても重要な産業であつたことはわれわれのひとしを認める処であります。しかしながらこの重要資源の保護施策がなかつたならば現在の鮭鱒の資源は絶無に近いものといつても過言ではないのであります。

この孵化事業は明治10年開拓使において鮭鱒の孵化を試みるべく札幌啓楽園内に孵化施設を準備いたしましたのを嚆矢とし爾来今日まで実に80年間の永きにおよんで本道鮭鱒の孵化事業と資源の保護に努めてまいりましたことは道民が大きな関心を寄せているところでございます。

文明の発達とともに自然環境における魚介類は減少の一途を辿る現状においてこの鮭鱒の保護増殖を計る孵化事業の推進とその実績の大なることには只々敬服の念を新にするのみであります。

将来ともに學術の粋をあつめいよいよ斯業の発展につくされんことを祈つて止みません。

はなはだ粗辞、その意をつくしませんが一言申述べてお祝いの言葉と致します。